

授業改善推進プラン＜音楽＞

1 指導目標

- 以下の3点を音楽科における学力と定め、学力向上を図るべく指導を継続していく。
 - (1)音楽表現のために必要な技術や考え方をより具体的・多角的に工夫することができる力
 - (2)音楽の感受をより深く幅広く行うために必要な種々の具体的事例を享受できる力
 - (3)表現や鑑賞で感受した内容を、根拠を持ってより多くの人々に伝えることができる力

2 平成25年度における考察と課題

- 楽典的な要素を機械的に覚えるだけでなく、それを表現に結びつけたり、鑑賞に生かしたりする力が育ち始めている。
- 感受した要素を、根拠を持って多くの人に伝える能力を育てる必要がある。

3 平成26年度へ向けての改善のポイント

- 定期テスト問題の工夫を継続するとともに、表現の方法を話し合ったり具体的に表現に結びつける練習の機会を積極的に授業に取り入れるなどして、さらなる能力の伸長を図る。
- 相手に伝えることを前提とした鑑賞内容の文章化を進め、合わせて楽曲の作りや作曲者、歴史的背景などを知る時間を増やし、根拠を持って楽曲の持つ美しさや豊かさを伝えることができるようにする。

4 評価の工夫

観点項目	観点項目の趣旨	おもな評価内容
音楽への関心・意欲・態度	音楽に親しみ、音や音楽に対する関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	行動観察・ワークシート 実技テスト 定期テスト
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図を持っている。	行動観察・ワークシート 実技テスト 定期テスト
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	行動観察・ワークシート 実技テスト・発表の記録
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わって聴いている。	行動観察・ワークシート 定期テスト・鑑賞の記録